

# SDGsの達成に向けた 大阪市の主な取組み



～大阪市は、様々な取組みを通じて、  
SDGsの達成に貢献していきます～

持続可能な開発目標（SDGs ※）は、2015年9月の国連サミットで採択された、2030年を期限とする国際社会全体の17の開発目標です。

「誰一人取り残さない」社会の実現をめざし、経済・社会・環境をめぐる広範な課題に統合的に取り組むものです。

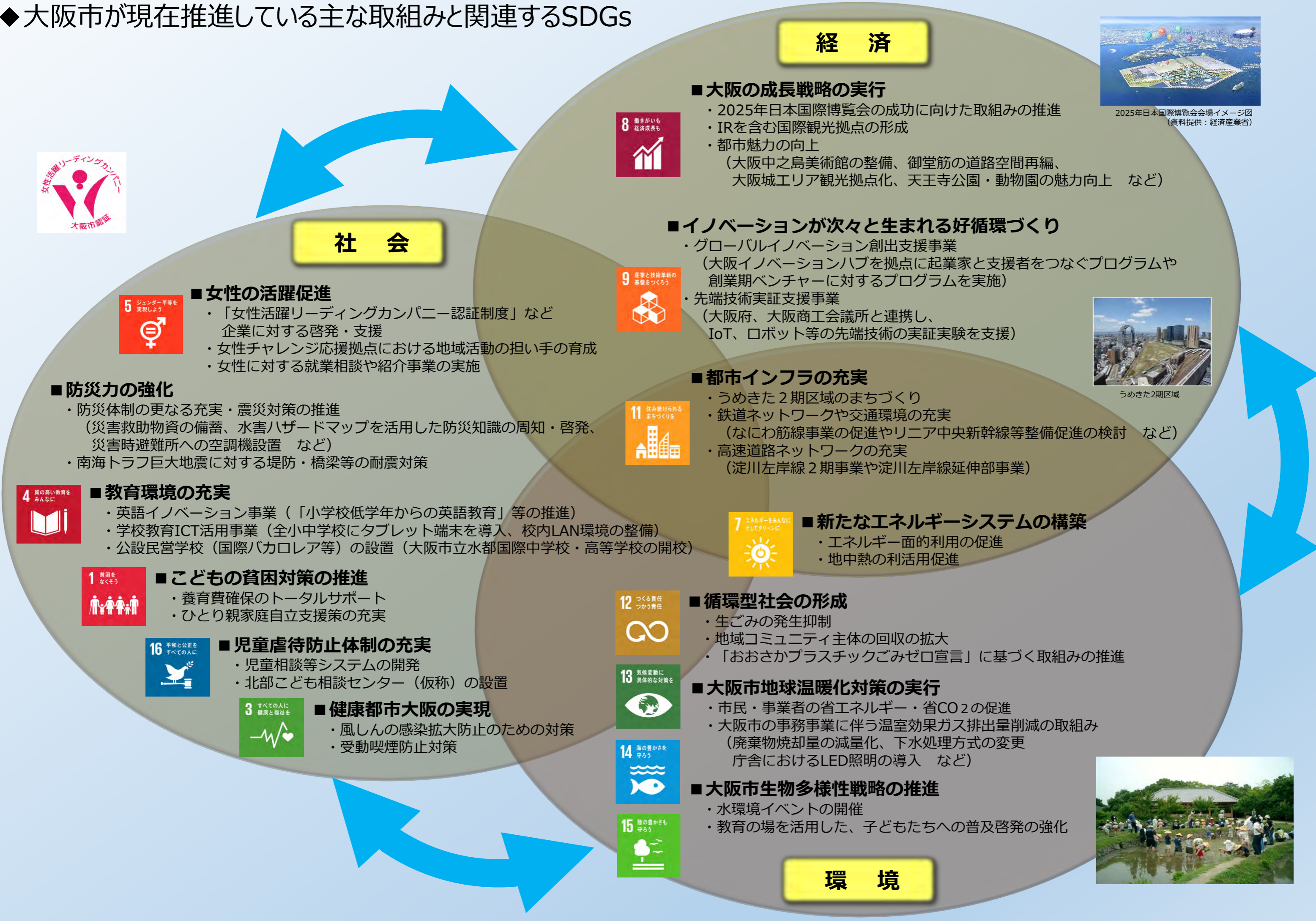
※SDGsとは、「Sustainable Development Goals」の略称のこと



SDGsは、現在大阪市が進めているさまざまな取組みと密接な関わりがあります。  
この冊子では、SDGsの達成に関連する大阪市の主な取組みを紹介しています。



# ◆大阪市が現在推進している主な取組みと関連するSDGs



## 経済

### ■大阪の成長戦略の実行

- ・2025年日本国際博覧会の成功に向けた取組みの推進
- ・IRを含む国際観光拠点の形成
- ・都市魅力の向上  
(大阪中之島美術館の整備、御堂筋の道路空間再編、大阪城エリア観光拠点化、天王寺公園・動物園の魅力向上 など)



2025年日本国際博覧会会場イメージ図 (資料提供：経済産業省)



### ■イノベーションが次々と生まれる好循環づくり

- ・グローバルイノベーション創出支援事業  
(大阪イノベーションハブを拠点に起業家と支援者をつなぐプログラムや創業期ベンチャーに対するプログラムを実施)
- ・先端技術実証支援事業  
(大阪府、大阪商工会議所と連携し、IoT、ロボット等の先端技術の実証実験を支援)



うめきた2期区域

### ■都市インフラの充実

- ・うめきた2期区域のまちづくり
- ・鉄道ネットワークや交通環境の充実  
(なにわ筋線事業の促進やリニア中央新幹線等整備促進の検討 など)
- ・高速道路ネットワークの充実  
(淀川左岸線2期事業や淀川左岸線延伸部事業)



### ■新たなエネルギーシステムの構築

- ・エネルギー面的利用の促進
- ・地中熱の利活用促進

## 社会

### ■女性の活躍促進

- ・「女性活躍リーディングカンパニー認証制度」など企業に対する啓発・支援
- ・女性チャレンジ応援拠点における地域活動の担い手の育成
- ・女性に対する就業相談や紹介事業の実施



### ■防災力の強化

- ・防災体制の更なる充実・震災対策の推進  
(災害救助物資の備蓄、水害ハザードマップを活用した防災知識の周知・啓発、災害時避難所への空調機設置 など)
- ・南海トラフ巨大地震に対する堤防・橋梁等の耐震対策



### ■こどもの貧困対策の推進

- ・養育費確保のトータルサポート
- ・ひとり親家庭自立支援策の充実



### ■児童虐待防止体制の充実

- ・児童相談等システムの開発
- ・北部こども相談センター(仮称)の設置



### ■健康都市大阪の実現

- ・風しんの感染拡大防止のための対策
- ・受動喫煙防止対策

## 環境

### ■循環型社会の形成

- ・生ごみの発生抑制
- ・地域コミュニティ主体の回収の拡大
- ・「おおさかプラスチックごみゼロ宣言」に基づく取組みの推進



### ■大阪市地球温暖化対策の実行

- ・市民・事業者の省エネルギー・省CO2の促進
- ・大阪市の事務事業に伴う温室効果ガス排出量削減の取組み  
(廃棄物焼却量の減量化、下水処理方式の変更庁舎におけるLED照明の導入 など)





# ～ 事例の紹介 ～

## 経済 ◆2025年日本国際博覧会の開催を通じたSDGsへの貢献

国、大阪府、経済界と一体となり誘致活動を展開した結果、2018年11月にパリで開催されたBIE総会において、2025年国際博覧会の開催地が日本（大阪・関西）に決定しました。万博は、地球規模のさまざまな課題に取り組むために、世界各地から英知を集める場所であり、開催地である大阪において、SDGsの取組みをさらに加速させていくことが求められています。

2025年日本国際博覧会の概要	
開催期間	2025年4月13日～10月13日（184日間）
開催場所	大阪 夢洲（ゆめしま）
テーマ	いのち輝く未来社会のデザイン （Designing Future Society for Our Lives）
経済波及効果 （試算値）	約2兆円



会場イメージ図(資料提供：経済産業省)

## 社会 ◆児童虐待相談へのより丁寧な対応の実施

増加する児童虐待相談に対して、より丁寧な対応を行うため、市内3箇所目の児童相談所として、北部方面には、東淀川区のもと西淡路小学校分校に北部こども相談センター（仮称）を開設します。（2021年4月運営開始予定）

※ こども相談センターとは、児童福祉法に基づき設置される児童相談所に、教育センターの教育相談部門を統合して誕生したもので、子どもの健やかな成長を願い、こどもや保護者とともに問題を考え、解決していくための専門機関です。児童福祉司や児童心理司などの専門スタッフが、学校、区役所をはじめ地域の関係機関と連携して、子どもや保護者の方に必要な援助を行います。また、教育相談部門では、不登校、「いじめ」問題など学校教育に関する相談を、来所だけでなく電話でも相談を受けています。



北部こども相談センター（仮称）  
イメージ図（建物正面）

## 環境 ◆「おおさかプラスチックごみゼロ宣言」に基づく取組みの推進

大阪市と大阪府は、2019年G20大阪サミット及び2025年日本国際博覧会の開催地として、プラスチックごみゼロに向け、使い捨てプラスチック削減のさらなる推進を行うことなどを盛り込んだ「おおさかプラスチックごみゼロ宣言」を行いました。（2019年1月28日）

今後、エコバッグを常に携帯する運動（大阪エコバッグ運動）や水環境学習会の開催、新たなペットボトル回収・リサイクルシステムの構築など、市民・事業者の皆さまと連携したプラスチックごみ削減の取組みを進めます。



大阪エコバッグ運動のポスター

【本冊子に関するお問い合わせ先】

大阪市政策企画室企画部（政策調査担当） 電話：06-6208-9723  
ファックス：06-6202-5620

（2019.6発行）  
（2020.1修正）